

# ネットクラウド活用講座

2013年4月

## I クラウド・サービスの一般化

無料で使えるクラウドサービスが増えています。  
必要なのはユーザー登録ぐらい。登録後すぐに、サービス提供会社が用意するサーバー(高性能コンピュータ)で、数ギガバイトの無料領域が割り当てられます。そこへ文書や写真などを保存すると、インターネットにつながる環境さえあれば、自宅でも、会社でも、外出先でも、データを閲覧できるようになります。写真をクラウド上へアップロードすると、すぐに家族や友人と共有して楽しめます。パソコンに限らず、スマートフォンやタブレットなど、さまざまな端末に対応する無料クラウドサービスも増えています。

パッケージサービスのグーグル・アップスも、企業や大学に普及しています。  
(おこぼれとして、卒業生にウェブ・メールを提供する大学が増加中～大容量のメールを一生使える 実例25GBのGメール)

パソコンの故障や買い替え時にも安心 (死後のデジタル資産の扱い)

メニューが豊富になったので、自分に合ったサービスの探究が必要  
(複数サービスの利用がおすすめ)

## II 宮園パソコンクラブの会員が練習用に使えるクラウド・サービス

### <ウェブ・メール>

- (1)Gメール     miyazonopcc@gmail.com  
会員のメールアドレス一覧表データやパソコン教材類を備蓄
- (2)gooメール     miyazono-pcc@goo.jp  
練習メールの送信先としてお使い下さい。(例 写真の「共有」の実際を経験)
- (3)hotメール     miyazonopcc@hotmail.co.jp  
使い勝手が向上しているスカイ・ドライブの利用資格を得るために開設
- (4)ヤフー・メール     miyazonopccclub@yahoo.co.jp  
昔は宮園パソコンクラブの書庫として使ったが、最近はあまり使わない

## <データ保管庫>

- (1) グーグル・ドライブ
- (2) スカイ・ドライブ
- (3) ヤフー・ボックス

## <ウェブ・アルバム>

- (1) ニコン・イメージ・スペース NIKON IMAGE SPACE  
(ニコン・マイピクチャータウンが衣替え)
- (2) ピカサ
- (3) スカイ・ドライブ
- (4) ヤフー・ボックス

## Ⅲ ウェブ・メールの活用方法

- (1) 大事なメールの保存 ダブル受信体制も一法
- (2) 無料ウェブ・サービスの利用資格維持にはウェブ・メールへのログイン(利用)が前提になっていることが多い。

無料での資格維持のための条件の例

九ヶ月に一度ログイン    グーグル    マイクロソフト

三ヶ月に一度ログイン    ヤフー

- (3) 安いので、有料で気兼ねなく使うのも一法です。
- (4) 大手プロバイダーの大容量ウェブ・メールによるメールのダブル保存のすすめ  
(PC本体のメールソフトと大手プロバイダーのサーバー)

\*\*\*\*\*

\* 今回の資料はワードパッドで作成しました \*

昔からある「アクセサリ」には、ワードパッドとメモ帳の二種のワープロソフトが入っている。

この二つは使い勝手の良いテキスト・エディターで、活用をおすすめします。

(ワード原稿の下書き)    <会社等ではこみいった複雑な文書はエクセルで作成します>